

# 仁多米株とJAへの出荷米、 価格差が大きい どう考えるか？

大垣照子 議員

**町長** JA、仁多米株、生産者の  
意見を聞き対応したい



**問** 仁多米株式会社への出荷米(コシヒカリ)は、Aランク米30kg一袋で1万円の価格補償をしているが、JAへの同出荷米は、特米5千850円、通常米5千600円で価格差が大きすぎる。JA出荷米は、他地域と同価格で仁多ブランド米の地位が低い。どう考えるか。

**答** 仁多米株集荷米は、これまで通り30kg一袋1万円程度を予定し、ブランド加算金も使い価格維持をしたい。

**問** JA出荷米についての価格補償は、どのように考えるか。

**答** JA、仁多米株、生



▲仁多ブランド米  
田植え後の生育調査と診断  
(高尾地内)

産者の方々の意見も十分聞きながら、対応したい。

**問** モチ米については、30kg一袋9千円程度を生産者に支払いたいとして、大型モチ加工場の建設をした経過がある。本年産のモチ米は、一等米価格が6千500円、価格差がかなりあるがどう考えるか。

**答** 最終的にとれだけの精算金が払えるか、全農やJA雲南にモチ米の販売面での更なる努力をしていただきたい。

**問** 本年産米の低価格対策としてJAや自治体負担で、JA出荷米については、一袋700円補償しているところもある。

**答** 本町でもこのような考えはないか。

**答** 県の稲作経営安定緊急資金やJAも災害緊急対策資金を創設。これ等の借入時、債務保証料の補償を考えていますが、

申し込みが始まったばかりであり、精算金の補償を注視し必要があれば検討します。

**問** 山形県が開発した「つや姫」は、耐暑性があり倒伏にも強く、コシヒカリに匹敵する食味米といわれている。天候に左右される稲作、農家が作りやすい「つや姫」等の導入の考えは。

**答** 市場評価があつての仁多米コシヒカリブランド。「つや姫」等についても十分、検討したい。

**問** 来年4月からヴィラ船通山を、奥出雲振興から切り離し指定管理にするのはなぜか。

**答** 管理運営について、より良い提案やサービス向上へのアイデア等、出してくれる人を期待し今回、公募をしました。

**問** 指定管理者の応募が

なかった場合の対応は。

**答** 3〜4社資料請求があつたと聞いています。

**問** ヴィラ船通山は指定管理に出し、一方では佐白温泉を新設する。新しいものを作るなら泉質の良いヴィラを整備し、今あるものを大事に活用すべきとの住民意見が多い。どう考えるか。

**答** 道路事情が悪く冬場でも安心して来てもらえる努力をすること、温泉に限らず奥出雲町全体で多くのお客さんを迎える取り組みをしたい。

**問** かつて、赤字が出れば50万から1千万円、町が補填するとの答弁もあつたが、指定管理になつても行うのか。

**答** 指定管理料は現在想定してなく、どんな金額を提案されるか、それも選考判断の一つです。

**問** 片方では新しく造り、片方では冬期間(平日)閉館する。住民感情は受け入れがたく、「佐白温泉は考え直せ」の声が多い。住民にとって本当に必要なものか。

**答** 佐白温泉の運営は、地元の皆様と考えたい。